

播種祭（はしゅさい）・種まき

令和4年3月27日



ひとつの塩ビ管に5か所穴をあけて、3粒ずつ種をまきました。

種や発芽した芽を鳥に食べられてしまわないように、寒冷紗（かんれいしゃ）という布をかけました。

双葉（ふたば）が出て、本葉が1～2枚出るまでは、毎日水やりをしました。

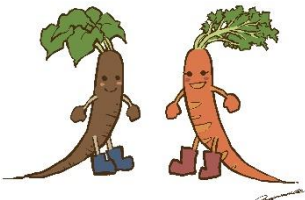
発芽（はつが）しました。

令和4年4月5日～4月8日



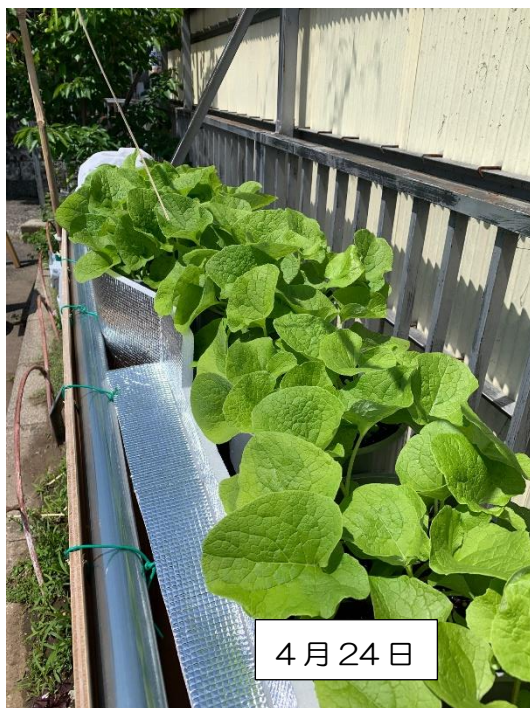
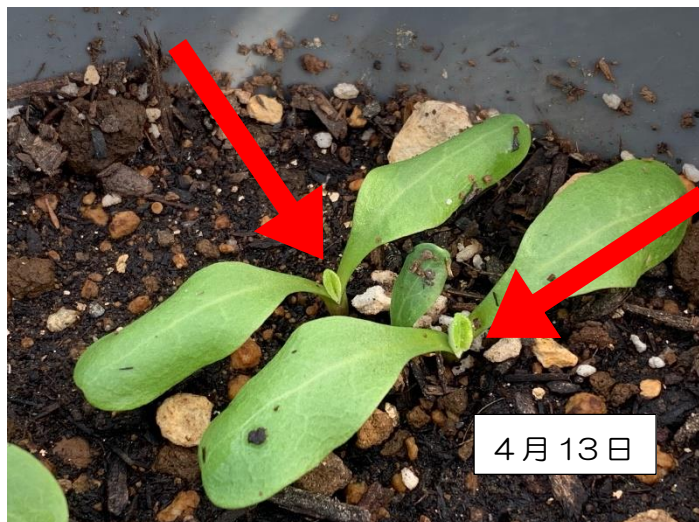
種まきから9日目に、2つ芽が出てきました。その後は見に行くたびに増えていました。

1つの塩ビ管にまいた種は15粒です。発芽したのは12～14粒でしたので、約9割が発芽しました。



本葉が出てきました。

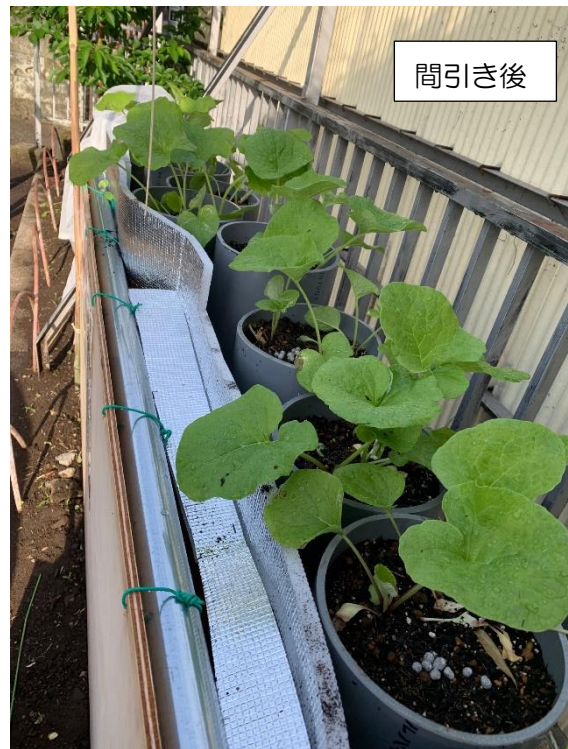
令和4年4月13日～



本葉が出てからは、日ごとに葉を大きくし、葉の数もどんどん増えていきました。

間引きをしました。

令和4年5月9日



発芽から1か月で、だいぶ密になりました。

ごぼうは良く根を伸ばして、間引いたごぼうからは、ちゃんとごぼうの香りがしました。

間引いた後は、追肥（ついひ）をして、水やりをして、この日の作業は終わります。

この後は、水やりはごぼうの様子を見ながら行います。



その後の成長



9月19日



収穫 令和4年9月21日

収穫したごぼうは、予定の半分以下、30～40cmほどの長さでした。土、水、肥料のいずれかの問題かと思います。いくつか課題も見つかりましたので、来年は、もっと長いごぼうができるように工夫して栽培を行いたいと思います。



短いごぼうではありましたが、収穫祭で振る舞うごぼう汁の試作として、収穫したその日にごぼう汁を作ったところ、とてもおいしく香りのよいごぼうでした。



「滝ぼう」 「きゃろ美」

ごぼうの花・種の採取



収穫後のごぼうの根の上部と茎の部分を鉢に植え替えました。

来年の6月ごろ、花を咲かせます。どんな花が咲くのか楽しみです。

花後に種を採取します。

